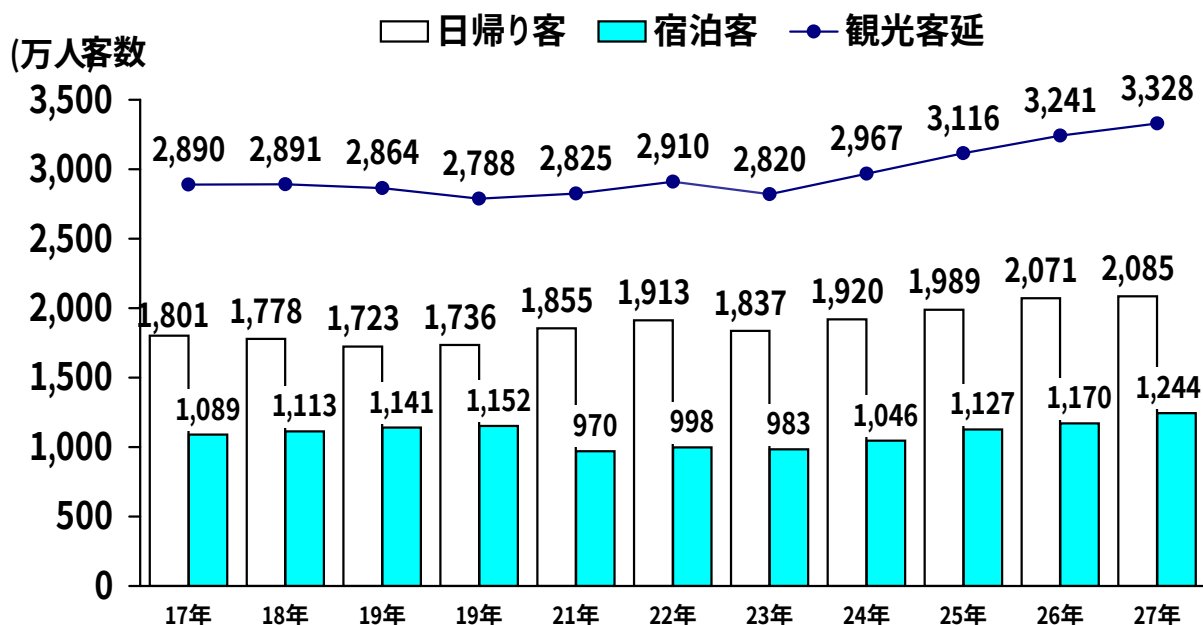


年次別観光客推移



(注)一部市町で平成27年から算定方法が変更されたため、平成26年の数値は、同じ方法により再算定を行っている。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されたこと、世界遺産候補の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への注目が高まったこと、ハウステンボスの光の王国や世界新三大夜景である長崎市の夜景などの夜型観光が引き続き好調を維持していること、国の地方創生交付金を活用した「ふるさと割」の実施により宿泊客が増加したこと、訪日旅行需要が拡大する中、外国人宿泊客数・クルーズ客船入港隻数が過去最高を記録したことなどから、前年の長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会開催による反動減が一部見受けられたものの、平成27年の観光客延べ数は3,328万人(対前年比+2.7%)となり、これまで最多であった平成26年を上回り、2年連続で過去最高を更新した。

日帰り客数は2,085万人(対前年比+0.6%)、宿泊客延べ滞在数は1,244万人(対前年比+6.3%)であり、宿泊客数の増加が観光客延べ数の増加に大きく寄与している。

観光消費額については、観光客の増加により、3,817億円(対前年比+12.3%)となり大幅に増加した。

日帰り客、宿泊客別に観光消費額をみると、日帰り客は1,715億円(対前年+12.0%)、宿泊客は2,101億円(対前年比+12.6%)であり、日帰り客、宿泊客ともに観光消費額に大幅な増加がみられた。

(県観光振興課)